



名瀬市の久里町にある奄美小学校は、国道五十八号線に面しており、学校敷地との境界はブロック塀で囲まれて周囲とは閉ざされていた。

この「花とあいさつの咲くロード」の整備にあたっては、ブロック塀の撤去を行い、カラーフェンスをセットバックさせて、花壇を歩道側に移設した。この整備によって歩行者も校庭にある美しい草花を眺めることができるようになり、子供たちの元気な姿も見ることができると喜ばれている。また、歩道に面して作品を展示する青空ギャラリーを設置した。

花壇の素材には、サンゴ石が用いられ、四季の花や亜熱帯植物が植えられている。さらに、緑石に三〇センチから六〇センチの段差を設けており、ベンチとしても活用されている。

## DATA・BOARD 59



- ① 鹿児島県名瀬市久里町
- ② 延長：90m、幅員：1m
- ③ 青空ギャラリー、花壇、フェンス
- ④ サンゴ石、タイル、植栽（四季の草花、亜熱帯植物）